

令和5年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

福岡県立浮羽工業高等学校 全日制

自己評価			
学校運営計画(4月)			評価(総合)
学校運営方針	日本国憲法、教育基本法に則り、自律心や創造性を培い、心豊かで責任感あふれ、自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に主体的に対応できる工業人の育成に努める。		
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
本校は、創立117年目の歴史と伝統を誇る県下でも屈指の工業高校である。就職率100%、四年生大学進学者等を含め就職・進学ともに安定した進路実績がある。このことは、工業教育を永年にわたり実践してきた歴代校長以下、本校職員の実践が奏功、かつ有為な社会人として卒業生が活躍してきたことの賜物である。全学科得意技コース制の積極的運用を通じ、21世紀を勝ち抜く工業人を育成する。 「浮工チャレンジャーズ」を合言葉に生徒と教師が一致団結し何事にも挑戦し続ける校風をさらに醸成することや、あいさつ5S活動を通して、社会人としての礼儀作法を習得させ、地域から愛されたいと願われる人材を育成する学校づくりに努める。	キャリア教育の充実と得意技コース制の活性化を図り、就職率100%の維持と進路内容の充実を図る。	・充実した授業(ICT機器の活用・AL)を展開することで、生徒の学力・技能の養成に努める。 ・キャリア教育を充実させ、向上心に溢れ、高い志を持つ生徒の育成を行う。 ・資格取得や基礎学力の育成のため、指導体制を強化する。	
	テクノボランティア(実習の成果を生かした地域貢献・社会貢献活動)の拡充を図る。	・「ものづくり教室」や課題研究・文化祭等のテクノボランティアで確実な成果を上げる。 ・「テクノボランティア」活動の活発化と、地域との連携を深め、その内容の充実を図る。 ・ものづくり部の指導体制の確立と活動の充実を図る。	
	ものづくりを通じた人づくりを推進する。	・ものづくりは人づくりの観点から、挨拶指導や身だしなみ指導等を徹底する。 ・幅広い人づくりを推進するため、部活動を活性化させる。 ・教員がしなやかな人権感覚をもち、道徳心やいじめ撲滅等に向けた人間力の育成を行う。	
	広報活動を充実させ、地域に信頼される学校づくりを行う。	・工業高校らしい特色ある教育活動の実施において、広報活動の強化・充実を図る。 ・テクノボランティアとともに地域貢献活動の推進(柔軟な生徒派遣)を行う。 ・ホームページやSNS等、中学校訪問の充実を図るとともに、戦略的展開における広報活動を実施する。	
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)
教科指導	「主体的・対話的で深い学び」の実現	ICT機器を効果的に活用し、思考力や表現力を高める授業を展開する。 振り返りや対話活動を取り入れた授業を実践する。 指導力の向上を図り、わかる授業を展開する。	
	授業規律と基礎学力の定着	学習環境の整備と授業規律を徹底する。 考査前学習会の充実を図り、自ら学ぶ態度を育成する。 各教科・担任・保護者との協力体制を築き、生徒情報を共有する。	
	生徒支援の充実	成績改善指導を通じて、個に応じた学習支援に取り組む。 生徒の実態に応じて、適切なサポートを行う。 「ものづくり」や「奉仕活動」を通して、地域から必要とされる学校づくりを目指す。	
生徒指導	基本的生活習慣の確立と規範意識を育む。	挨拶指導や身だしなみ指導を実施し、端正な服装と自律性ある態度を育成する。 校内外の巡回指導を実施して生徒の実態を把握し、学年や学科と連携して規範意識を高める。 部活動を活性化し、人間力の育成に取り組む。	
	交通安全教育の充実を図る。	定期的に通学者集会を実施し、交通安全に対する意識向上に努める。 交通安全教室や校外指導等を通して、交通安全や交通ルール遵守の意識向上を図る。 生徒が主体となって交通安全や交通ルール順守の啓発を行う活動を実施する。	
	全職員でいじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。	学校いじめ防止基本方針を共通理解し、いじめの起こりにくい環境づくりに努める。 学校生活アンケート等を実施し、生徒情報を共有し、全職員で適切な支援を行なう。 ものづくりは人づくりの観点から、人の悩みに寄り添い、支え合い共に成長していくことを啓発する。	
進路指導	進路実現のための職業観・勤労観の育成	一年次よりガイダンス等を用いて、進路への意識付けを行う。 工場見学やインターンシップにより実際の現場を経験することで、職業観・勤労観を育成する。 各学年団と連携を図りながら、それぞれの学年に応じた体系的な指導を行う。	
	基礎学力の定着および社会人としての態度の育成	対外的な模試等を実施し、学力を客観的に考察させることにより学習意欲を喚起する。 普通教科、専門教科と連携し、生徒の満足度を高める。 就職試験や大学入試の傾向を分析し、生徒に情報を提供することで基礎学力の重要性を認識させる。	
	キャリアプランニングの一環として、資格取得に対する意欲の涵養	キャリアパスポートを用い学校生活全般を振り返ることで、自分の役割の価値を認識し、生き方を意識させる。 自己の進路を実現するための手段の一つとして、資格取得に対する意欲の向上を図る。 実習、課題研究を通じ、様々な課題を発見、分析し、解決する能力を育成する。	

学校関係者評価	
評価(総合)	自己評価は
	A : 適切である B : 概ね適切である C : やや適切である D : 不適切である
項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度の主な課題	項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見	
研 修	教員の資質・力量を向上し、学びつづける教員像を目指した研修を行う。	職員の要望に応えながら効果的な職員研修を企画・運営する。					
		キャリアアップ講座等の外部研修の受講機会を推進する。					
	授業改善を図り、生徒の学校満足度を向上させる。	外部講師を積極的に招聘して、本校の活性化や課題解決を模索する。					
		1学期（6月）2学期（11月）に授業参観週間・研究授業を予定する。					
教育情報	ICT機器を活用した効果的な授業の推進	若年研修1・2・3年目を実施し、授業の改善について全職員で共通理解を図る。					
		ICTを活用した授業を積極的に紹介し、職員が実践できる研修を企画する。					
	ネットワークの安定運用	Chromebookの活用推進と取り扱いルールの改正を行う。					
		ICT機器の管理を徹底し、トラブルへの迅速な対応を行う。					
保 健	全職員と連携した保健業務を行い、生徒の心身の健康維持を図る。	ICT支援員と連携し、ICTを活用した学びを積極的にサポートする。					
		トラブルに迅速に対応できるサポート体制維持に努めるため、課職員のスキルアップを図る。					
	日常の清掃活動を通して、美化意識の向上に努める。	ネットワークセキュリティを確保し、情報漏洩防止に努める。					
		改築工事に伴うネットワーク構成の変化を把握し、トラブルへの迅速な対応を行う。					
総務企画	学校各種行事を円滑に遂行する。	保健室に来室する生徒へ適切に対応し、保健課職員と担任や学年等と連携に努める。					
		教育相談委員会等を利用して生徒情報を共有し、配慮を要する生徒への支援と状況把握を図る。					
	保護者、地域、同窓会との協力関係を築き、学校の活性化につなげる。	SC等外部専門機関の相談機能を活用し、助言を受けて早期対応を行う。					
		各学期に美化コンクールを実施し、清掃活動の徹底と美化意識の向上を図る。					
広 報	地域や中学校に向けて広報活動を戦略的に展開する。	校内における各自のごみ持ち帰りと分別を推進し、ごみの減量を目指す。					
		日々の清掃活動の状況を把握し、職員による支援や指導を通して校内美化に努める。					
	中学生体験入学、進路相談事業や高校説明会等において、本校の魅力を丁寧にわかりやすく伝える。	式典や各種行事等において、各部署と協力、連携し、職員への周知、情報共有を行う。					
		大規模改造計画に対応し、各種行事の企画運営を行う。					
図 書	図書館の環境整備および図書資料の充実を図る。「朝の読書」など生徒の読書活動を推進する。	教務、広報と連携し、中学校訪問や体験入学の充実を行い、得意技コースの周知および本校の魅力を中学生に伝え、志願者増につなげる。					
		P T A行事等への保護者への呼びかけを積極的に行い、理解や協力を得る。P T A行事の発展的な精選を行う。					
	図書館及び視聴覚室の環境整備を図る。芸術鑑賞教室を成功させる。	公開する学校行事を通して地域との良好な関係を築く。					
		学校行事を通して、同窓会、教育振興会との連携を築く。					
生徒会指導	主体性を育み自治的活動の活性化を図る。	中学校や塾への広報活動を年間を通じて計画的・効果的に行う。					
		中学校や新入生から意欲的に情報収集を行うとともに、本校職員の情報共有を図る。					
	魅力ある学校行事を実施し、学校P Rに繋げる。	S N Sを駆使し、情報発信の幅を広げるとともに、ホームページ等でわかりやすく本校の魅力が伝わるよう努める。					
		体験入学を通じて、中学生や保護者にもものづくりや本校の魅力を伝える計画・内容の向上に努める。					
第1学年	基本的生活習慣の確立と学習習慣の定着を図る。	コース制、各科の内容、進路実績などをわかりやすく伝える。					
		高校説明会においての説明内容をブラッシュアップし、気になる学校の1つになるよう努める。					
	学校行事や学年行事へ積極的な参加を促し、所属感や自己有用感の醸成を図る。	利用しやすい図書環境を提供するために、学校図書館に適した図書を選定し、生徒の学習活動に対応する。					
		「朝の読書」を推進するために、アンケート調査などの啓発活動を進める。					
第2学年	情動的知能の育成と社会的認識を高める指導を行う。	学校行事に沿って図書委員会の、校内および校外活動を活性化させる。					
		大規模改造に伴い、図書館棟内の移動準備、仮設図書館の充実と環境整備を進める。					
	基礎学力の向上および進路決定を意識したプランニング力を養成する。	芸術鑑賞教室を成功させ、生徒の情操を育てる。（今年度は郊外ホールでの実施）					
		視聴覚機器の維持管理を日頃より行い、利用しやすい視聴覚機器環境を提供する。					

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度の主な課題	項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
第3学年	全生徒が希望する進路実現100%を目指し、学年団と進路指導部で連携しながら段階的な指導を行う。 主体的に行動でき、即戦力と成る人材を育成するため、各行事に積極的に取り組むようサポートする。	5月の進路希望調査に向けてクラス面談を行い、学年団と進路・学科との情報共有を密にする。				
		夏季休業中の進路課外を通して、基礎学力と基本的生活習慣の定着を図る。				
		進路指導部と連携して、SPI検査や面接指導等を計画的に行うことで、一次合格率90%を目指す。				
		学年運営委員が集会や行事、各クラス内で活躍できる場を増やし、生徒主体で行動できるよう事前指導を徹底する。				
工業教育	魅力ある学科、得意技コース制の活性化を図る。 テクノボランティア、地域や中学校へのPR活動を推進する。	HRの時間を活用し、学年全体で取り組む活動を取り入れ、他者を思いやる心や学年への帰属意識を高めさせる。				
		体育祭や文化祭などの学校全体の行事において、役割を多く与えることで責任感やリーダーシップ、協調性を育てる。				
		学科の教育内容の充実を図るとともに、得意技コース制の特色を活かし幅広い知識を身に付けさせる。				
		得意技コース制の運営を円滑にし、魅力を発信する取り組みを行う。				
建築科	基本的な生活習慣の確立を図る。 進路意識の高揚を図る。 資格取得・ものづくりの充実を図る。	テクノボランティアを充実させ、地域との連携を深めための施設設備の充実を図る。				
		出前授業、地域の活動等に積極的に参加し、学校の理解、PRを行う。				
		広報と連携しホームページの充実や、わかりやすく興味・関心を持たれる内容になるよう工夫する。				
		5Sを意識させた挨拶や身だしなみ・時間厳守・提出物期限の厳守などの指導の徹底を図る。				
環境デザイン科	人格形成と資格取得に取り組み、社会で即戦力となる人材を育成する。 学科の特色を活かしたものづくりを実践し、地域と連携することで学校の活性化に繋げる。 3年間を見通した進路意識を持たせ、より良い進路実現が果たせるように努める。	実習などの授業では、環境美化・環境整備に努め、規律や安全面の指導徹底を図る。				
		担任や保護者との連携を図り、家庭での規則正しい生活の啓発を図る。				
		インターンシップや現場見学会の取り組みを充実させ、進路意識の高揚を図る。				
		希望進路実現に向けて全職員が面接指導を行い、進路内容の充実を図る。				
機械科	生徒が社会に出た際に困らないような、生活習慣や礼儀作法を身につけさせる指導を行う。 進路決定を見越した資格取得の充実化・支援を行う。 実習で得た技術を生かし、地域貢献に繋げ、地域との連携を深める。	得意技コースにおいて、生徒が具体的な目標を持って選択できるような授業展開を行う。				
		1年生は、ワープロ検定3級100%、3年生は建築製図認定試験50%、2級建築施工管理技術検定30%の合格率を目指す。				
		ものづくりを通して、建築技術の向上を図ると共に、テクノボランティア活動を行い、地域貢献や広報活動に努める。				
		製図、実習、課題研究、ものづくりなどの活動の充実を図る。				
電気科	進路意識を高め、資格取得、検定試験の活発化を図る。 規則を遵守する態度を育てる。 クラスの掌握・担任の補佐を確立する。	1年生は、ワープロ検定3級100%、3年生は建築製図認定試験50%、2級建築施工管理技術検定30%の合格率を目指す。				
		ものづくりを通して、建築技術の向上を図ると共に、テクノボランティア活動を行い、地域貢献や広報活動に努める。				
		製図、実習、課題研究、ものづくりなどの活動の充実を図る。				
		1年生は、ワープロ検定3級100%、3年生は建築製図認定試験50%、2級建築施工管理技術検定30%の合格率を目指す。				
材料技術科	基本的な生活習慣の確立を図る。 学力向上に努め、資格取得の推進及び合格率の向上を目指し、進路実現につなげる。 ものづくり活動を通して、広報活動及び地域貢献を行う。	日常の振舞いに礼節や正しいマナー身に付け、時間と規則を遵守できるように、社会性を広げる指導を行う。				
		生徒の主体的な資格試験への取り組みを促し、全資格試験の合格率向上に繋げる。				
		日常や作業に潜むリスクを常に意識し、生徒自ら安全対策を講じることができるよう指導を行う。				
		地域と連携したものづくりを実践し、社会貢献に主体的に取り組む態度を育成する。				

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・

評価項目以外のものに関する意見

--